

9月定例会



秋晴れのもと、全速力で駆け抜ける！(河原保育所運動会)

田辺東小 改築工事 請負契約案を可決

京都地方税機構議会議員を選出

平成21年第3回定例会は、9月2日に開会し、28日間の会期で9月29日に閉会しました。初日には、市長から条例案や補正予算案などが提出されました。条例案など11件は、常任委員会に付託して審査することとし、人事案5件すべてに同意しました。また、議員が提案した委員会条例の一部改正を可決しました。一般質問では、15人の議員が登壇し、市政運営についていただきました。最終日には、常任委員会に付託していた市長提案案件及び議員から提出された意見書案2件をすべて可決するとともに、追加提案された平成20年度一般会計など、10件の決算認定案を決算特別委員会に付託し、閉会中に審査することとしました。

条例・予算等 11議案を審議

定例会初日には、市長から「土砂等による埋立等事業規制に関する条例の一部改正」をはじめ4件の条例案と、「城南市町村税滞納整理組合の解散」をはじめ7件のその他案が提案され、所管の常任委員会に付託し、審査を行いました。

地方税機構 議会議員選出

最終日には、京都地方税機構議会議員の選出が行われ、櫻井立志(さくらいたつし)議員(61)と大住閑屋(おおいずまひま)を指名推薦により全会一致で選出しました。

市長提出議案 すべて可決

最終日には、各常任委員会に付託していた議案の審査結果に対し、各委員長からの報告を受け、討論のあと、採決を行いました。討論では、日本共産党京田辺市議会議員団から「城南市町村税滞納整理組合の解散」及び「城南市町村税滞納整理組合の解散に伴う財産処

なお、補正予算では、

女性特有のがん検診推進事業費2200万円、焼却施設総合計装システム更新事業費6400万円、農業基盤整備事業費2400万円、三山木地区特定土地区画整理事業費9300万円、学校情報通信技術環境整備事業費3400万円、地上デジタル放送用アンテナ設置事業費1200万円、理科教育振興設備充実事業費1100万円、学校給食環境整備事業費1400万円を追加するなど、平成21年度一般会計補正予算(第2号)のほか5件の特別会計補正予算案が提案され、質疑の後、各

紙面のご案内

- 2面 常任委員会の審査報告
- 3面 所管事務調査、意見書、政務調査費収支報告
- 4面 一般質問、議会日誌
- 5面 一般質問
- 6面 一般質問
- 7面 一般質問
- 8面 シーズンスケッチ、議決結果、用語の解説、あとがき など

15議員が一般質問

常任委員会で、所管部分の審査を行うこととしました。(2面に掲載)

2日目から4日目には一般質問を行いました。(4～7面に掲載)

人事案 5件同意

定例会初日には、自治功労者の推薦など5件の人事案が提案され、すべて同意しました。

自治功労者には、喜多英男(きたひでお)さん(74) 新里ノ内(にい) 木原治男(きはらはるお)さん(60) 宮津宮ノ下(みやつみやのした) 上田克巳(うへだかつみ)さん(71) 多々羅前田(たたらまえ) 以上3人の推薦に同意しました。

決算案は閉会中に審査

歳出総額194億308万533円で、実質収支が2億233万2836円の黒字となった平成20年度一般会計ほか、8つの特別会計と水道事業会計の歳出歳入決算認定案が、市長から追加提案され、10人の委員で構成する決算特別委員会を設置し、付託の上、閉会中に審査することとしました。なお、設置した決算特別委員会での互選の結果、委員長には、増富理津子(ふちむらつこ) 副委員長(共産党)は、副委員長には、鈴木康夫(すずきやすと)を選出しました。

要介護認定等 意見書可決

最終日には、議員から、「新しい要介護認定制度の見直しを求める意見書」及び「日米FTA交渉に関する意見書」の2件の意見書案が提出され、それぞれ賛成全員で可決しました。なお、可決し

任期は、平成21年10月1日から4年間です。さらに、9月30日付けで任期満了となる公平委員会委員には、田邊宗一(たなべそういち)さん(60) 新里ノ内(にい)の再任に同意しました。任期は、平成21年10月1日から4年間です。